

# AD ALTIORA SEMPER

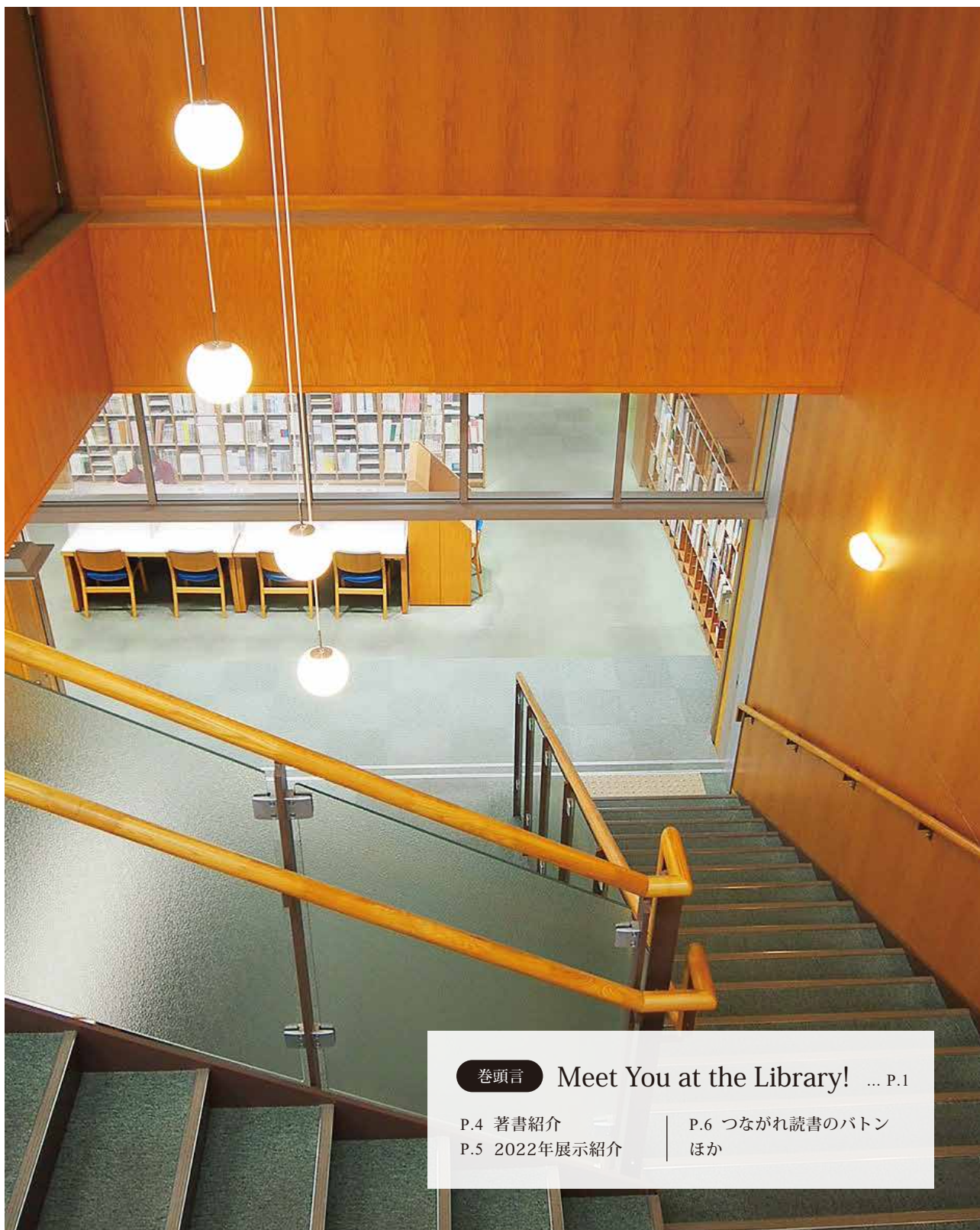
神戸市外国語大学 図書館報

vol. **56**

2023年1月31日  
【編集・発行】  
神戸市外国語大学  
図書館



AD ALTIORA SEMPER (アド・アルティオラ・センペル) とは  
ラテン語で「常により高きを求めて」という意味です



巻頭言 Meet You at the Library! ... P.1

P.4 著書紹介  
P.5 2022年展示紹介

P.6 つながれ読書のバトン  
ほか

## Meet You at the Library!

英米学科 教授 難波江 仁美

アメリカ西海岸、青い空と広大なキャンパスで知られるスタンフォード大学(1885 設立)の中央には、約 400 万冊を所蔵する人文系図書館 Cecil H. Green Library がある。わたしにとってここは図書館というより様々な出会いを可能にしてくれた場だった。本を探して書架のあいだを歩き回るのも、窓の外の景色をぼんやり眺めて過ごすのも楽しかった。思わぬ人に出会うのもこのグリーン図書館だった。

あの日、図書館は妙に閑散としていた。不思議には思ったが、お気に入りの窓辺に本を積み上げて一日を過ごし、夕刻帰宅。そして驚いた。黒い煙を吐きながら崩れていく NY の高層ビルがテレビの画面に映っていた。2001 年 9 月 11 日「同時多発テロ事件」当日だった。この不意打ち攻撃をニュースキャスターは「真珠湾攻撃再び」と形容した。NY からは遠く離れていたが辺りには緊迫した空気が漂っていた。いつも立ち寄り中近東レストランの窓にはアメリカ国旗が掲げられ、日本人も含めて留学生たちは尋問や拘束されるのではないかとピリピリしていた。3,000 人以上の死者を出したアメリカにとっての大事件だったが、あるアメリカの友人の「それでも広島原爆による死者数とは比較にならない」とつぶやく歪んだ顔は忘れられない。

さらに遡って 1989 年、スタンフォード大学大学院一年目の 10 月 17 日 17 時、北カリフォルニアは M.6.9 の地震に襲われた。わたしは宿題のディケンズの『大いなる遺産』(原題は皮肉にも *Great Expectations*) を手にしたまま外に飛び出した。その日は宿舎が立ち入り禁止となり、家族で来ていた歴史学科の日本人留学生のお宅にお世話になった。温かい日本料理が目の前に並んだときには、おもわず歓声を上げた。宿題に追われ料理する余裕はなかったし、授業に追いつけるか不安に思っていた矢先の地震だったから。翌日、地面が大きく揺れる体験は初めてという

学生の Cherry Coke の缶を握りしめた手が震えていた。なぜか、みな同じだ、という気持ちになった。サンフランシスコのベイブリッジが崩れ落ちた大地震である。大学図書館の書棚からも 75 万冊の本が床に落ちた。学生ボランティアも手伝って図書館は数日で復帰したが、建物の修復には 10 年を要した。わたしが博士論文を提出した 2001 年春、グリーン図書館は新しい設備を備えて蘇っていた。

スタンフォードでの指導教官ジョージ・デッカー先生はイギリスやアイルランドでも教鞭をとられたことのある、英・米、散文・韻文とジャンルを超えた学際的な研究者だった。カリフォルニアの森林警備員 (Fire Fighter) という経歴もお持ちだった。なにより人格者として尊敬されていて大学の役職もいくつもこなしておられた。当然多忙な先生だったが、研究室に伺うと「外にでましよう」とおっしゃり、ユーカリの香り漂うキャンパスを散策した。何気ない会話からはじ



定席は窓辺



スタンフォード大学グリーン図書館

まって、まだ道半ばのわたしの論文について質問されるのだった。これは至福の時、思索や発想はこうした時に訪れる。

わたしは移動する作家、越境する想像力をテーマに、大西洋を超えて欧州へと渡ったヘンリー・ジェームズやイーディス・ウォートンといった作家の作品を読んでいた。そしてふと逆方向に太平洋を渡って来日したラフカディオ・ハーンはどうだろうと考えた。ハーンは日露戦争が勃発した 1904 年の秋に病死したが、その前年アメリカで講演旅行を計画していて、コーネル大学に招聘されていた。しかし現地でチフスが蔓延、コーネルの学長はスタンフォードの学長にハーンを迎えてくれないかと打診したのだ。それに対する受諾の手紙のコピーをグリーン図書館のアーカイブで発見したときには心が躍った。ハーンの叶わなかった夢がここにある、と。結局、博論はハーン論になった。同時代の越境作家たちを繋ぐテーマは、未だ宿題のままである。

21 世紀、スタンフォードの図書館から「本」が姿を消しつつある。グリーン図書館設立 100 周年を記念して改装された入口ホールは、寄付者の意向を取り入れ、シリコンバレーの歴史を展示するアーカイブを備えたラウンジに生まれ変わったらしい。学生新聞 *Stanford Sphere* は「再び人文系軽視」と題した記

事 (2021/10/15) を掲載、新入生がまず目にするのはコンピューターやマウスの歴史、かつての参考図書、例えば *Oxford Dictionary of National Biography* 全 60 巻は姿を消した、と大学の方針に疑義を呈している。勿論、書架に収まらない本やデジタル化された本は巨大な別館に保存されているのだが、図書館の様相は変化していく。「人文系軽視」は対岸の火事ではない。

この春、31 年勤めた神戸外大を退職します。図書館司書のみなさんには大変お世話になりました。最近では 1000 部限定出版の『初期アメリカ新聞コミック傑作選』(是非活用を!)も購入いただきましたし、学外講師の先生をお招きするときには特別展示

企画も実現できました。コロナ禍での対策ではあったと思いますが、今図書館発信の SNS は充実しています。院生 LA(ラーニング・アドバイザー)によるガイダンスや読書ラリーなど、図書館を活用するための企画を次々と考案されていて心強いです。わたしたちの研究・教育を支える知と情報の要として、そして本と人との出会いを可能にする重要な文化的 HUB として、神戸外大図書館の未来に熱いエールを送ります。

## Meet you at the Library !



ユーカリ繋るキャンパス

## ■ 文中紹介著者作品【本文掲載順】(図書館所蔵)

### ● ディケンズ【Charles Dickens】

[日] 『大いなる遺産』上・下巻(請求記号：新潮文庫 ほか)

[英] *Great Expectations*(請求記号：N933=27=28)

<視聴覚資料>大いなる遺産(請求記号：DV==4047)

### ● ヘンリー・ジェームズ【Henry James】

[日] 『ロデリック・ハドソン』(請求記号：N933.9==1347)

[日] 『ある婦人の肖像』(上・中・下巻)(請求記号：N080=13=313-5・6・7)

[日] 『ねじの回転』(請求記号：N933.9==863)

[日] 『心ひろき友人たちへ：四人の女性に宛てたヘンリー・ジェームズの手紙』

(ヘンリー・ジェームズ[著];スーザン・E・ガンター編;別府恵子,難波江仁美訳)

(請求記号：N930.28==1492)

[英] *Roderick Hudson*(請求記号：N933.9=67=1)

[英] *The Portrait of a Lady*(請求記号：N933=27=65)

[英] *Daisy Miller and The Turn of the Screw*(請求記号：N933=27=64)

<視聴覚資料>ある貴婦人の肖像(請求記号：DV==3132)

<視聴覚資料>回転(請求記号：DV==3133)

### ● イーディス・ウォートン【Edith Wharton】

[日] 『エイジ・オブ・イノセンス：汚れなき情事』(請求記号：新潮文庫)

[英] *The Age of Innocence*(請求記号：N837.7=69=5-8)

<視聴覚資料>エイジ・オブ・イノセンス(請求記号：DV==3110)

### ● ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)【Lafcadio Hearn】

[日] 『怪談』(請求記号：N933.6==197 ほか)

[英] *Kwaidan*(請求記号：KEL==107)

## ■ 文中紹介作品【本文掲載順】(図書館所蔵)

### ● 『「原寸版」初期アメリカ新聞コミック傑作選 1903-1944』4巻セット(柴田元幸監訳)

[日] 『クレイジー・キャッツ』(請求記号：N726=208=2) ほか

■注記 [ ]内は使用言語を指す。 <視聴覚資料>は本学関係者に限り図書館内でのみ視聴可能。



## 「翻訳されること」 「翻訳を語ること」

英米学科教授

長沼 美香子 (ながぬま みかこ)

『번역된 근대』は拙著『訳された近代』(2017年、法政大学出版局)の韓国語版として、ソウルの成均館大学校出版部から刊行された。私にとって韓国語は未知の言語である。「翻訳されること」の不思議さだけでなく、その意義を改めて実感した出来事だった。原著の概要や翻訳出版に至る経緯は著者「序文」で説明したのだが、もはや私には理解できない記号としてのハングル文字が並ぶ。元の日本語原文の一部は次のようなものだった。

<文部省『百科全書』は、明治初期日本の大規模な国家的プロジェクトであった。2017年出版の拙著『訳された近代』では、この文部省『百科全書』を翻訳学の視座から分析した。日本のみならず東アジアの近代化を考究するうえで極めて重要なテキストであり、翻訳学を越えた学際的な取り組みが待望される。この度、拙著が韓国で翻訳出版される運びとなり、新たな研究の可能性が開かれる予感に心躍る気分である。

振り返れば、出会いは突然にやってきた。2019年10月に成均館大学校東アジア学院で開催された Translators as Political Actors: Reception of the Western Intellectual Discourse in Modern East Asia という国際会議への招待状を受け取ったのである。日本近代思想史を議論する場で、「翻訳」という共通テーマを介して異なる分野の研究者と交流することは本当に意義深く、私の視野を広げてくれた。そして、ここでの講演が拙著韓国語版のきっかけとなった。文部省『百科全書』のさらなる研究を通して、日韓両国を含む東アジア全体の近代について斬新な知見が得られると期待する。>

さて、韓国語版の「訳者あとがき」を知人に日本語へと翻訳してもらったので、以下に抜粋しておこう。

### 原著

#### 『訳された近代：文部省「百科全書」の翻訳学』

長沼 美香子著  
法政大学出版局、2017.2発行

図書館所蔵：N801.7==256



### 韓国語版

#### 『번역된 근대：문부성「백과전서」의 번역학』

長沼 美香子著  
김도형, 김태진, 박삼현, 박은영訳  
성균관대학교 출판부(成均館大学校出版部)、  
2021.2発行

図書館所蔵：N801.7==360



© Sungkyunkwan University press

<『訳された近代』は、東アジア各地域の近代が見せる複雑性を紐解く一つの端緒を見せている。それは文部省が国家的次元で推進した翻訳プロジェクトを通じて、近代日本が選別した西洋の近代とは何なのか、またその国家的プロジェクトを企画し、翻訳プロセスに参画した蘭学者・漢学者・洋学者らが漢語二文字で創出した日本の近代とは何なのかを明らかにする作業である。(…)日本の近代が中国大陸へ、大韓帝国へ、それから植民地台湾および朝鮮へ流れ込み、翻訳または翻案されたことを考えると、この本は明治と同時代を生きた東アジア各地域の人々の精神が何であったかをも知ることができる材料でもある。(…)日本の近代だけではなく、東アジアの近代が所有した複雑性を解く出発点といえるだろう。>

著者の期待に訳者が応答してくれたのだと感じた。

\* \* \*

「翻訳を語ること」については、残念ながら紙幅が尽きてしまった。本学図書館所蔵の季刊誌『tattva』vol.2(2021年、Bootleg)掲載の対談「ズレと余白の日本翻訳文化論」を一読いただければと思う。ここでは、いつもとは少し異なる視点から翻訳を語ってみた。

振り返ってみると、翻訳をするときには常に悩み苦しんでいるのだが、「翻訳されること」「翻訳を語ること」は、何故こんなにも楽しいのだろうか。

# 展示

## 展示紹介（2022年1月～6月）

### 司書のおすすめPOP 番外編展示

#### 「図書館で知る多様性」

をキーワードに2つの展示を行いました

##### ① Diversity & Inclusion特集 ～SOGIってなんだろう～

多様な違いを理解し、受容し合うことをめざす SOGI(性的指向と性自認)について理解を深めるための書籍を展示しました

**期間** 2022年2月7日～2023年1月19日

##### ② 図書館は「世界」であふれている

再び海外へ足を運べるその日まで、心のストックとなるように「世界」を感じられる書籍を集めました

**期間** 2022年2月7日～7月31日



### 特別展示

#### ロシア・ウクライナを知る



**期間** 2022年3月4日～9月30日

2022年2月24日のロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻を端緒としたロシア・ウクライナ情勢を受け、両国間の関係やウクライナの地理・歴史・政治を知るうえで一助となる資料を展示しました

### 特別展示

#### A JOURNEY ACROSS THE WORLD TO TAKE CHILDREN HOME



**期間** 2022年4月1日～5月30日

ロシア革命の混乱を逃れた子供たちを、ウラジオストクから親元へと届けた船「陽明丸」。同船長による手記『赤色革命余話：露西亞小兒團輸送記』の英訳が当館に寄贈されたため、関連資料とともにキャプションを添えて展示しました

## 🐦 図書館公式Twitterを運用中です

2020年9月に始動した当館の公式Twitterは、外大生に役立つ情報を随時発信しています。2021年度からは、「専攻4言語学習支援ツイート」と題して、原則週一回、各専攻言語の学習や文献探索などに役立つ情報をツイートしています。また、「外大ごよみ」と題して、四季折々の学内の様子を写真で紹介しています。



▲専攻4言語学習支援

### Twitter アカウントについて

- 名前：神戸市外国語大図書館
  - アカウント名：@KCUFS\_lib
  - URL：https://twitter.com/KCUFS\_lib
- ※Twitter アカウントをお持ちでない方も上記の URL からご覧になれます。

### フォローおよび返信への対応等について

- 他アカウントのフォローおよびリツイート、「いいね」は原則として行いません。
- リプライやダイレクトメッセージには、原則として返信しません。ご質問・ご意見は、お手数ですが、ホームページの「お問い合わせ先」からお願いいたします。



▲外大ごよみ

200字以内であなたの  
お気に入りの本を紹介し  
てください。メールで氏  
名またはペンネーム・紹  
介資料書名・著者名を明  
記し、下記の宛先まで。学  
生、教員、職員など利用  
区分に関係なくどなたで  
もご応募いただけます。

応募先

library@office.  
kobe-cufs.ac.jp

### 注意事項

- 氏名またはペンネームを掲載させていただきます。
- 外大図書館に所蔵がないものも応募できます。
- 漫画・雑誌等のご遠慮ください。

「つな  
がれ読書のバ  
トン」投稿募  
集！

## つな がれ読書のバ トン

「自分の深みにある  
と朗らかな文体。」  
フルで魅力的な写真  
ある美しさと満たさ  
のように、まるで妖精  
な、奥深い森で暮ら  
すフランス人女性の  
ヤナ。「自然と一体化  
した簡素でシンプル  
なくらしぶりだとい  
うのに、まるで妖精  
のような、遊び心の  
ある美しさと満たさ  
れています。」ハート  
と朗らかな文体。

第五走者 C A

『ヤナの森の生活…ハワイ島の大地に生きる』  
ヤナ著…ケイコ・フォレスト 訳

世界中を旅した後、  
ハワイ島のジャング  
ル、奥深い森で暮ら  
すフランス人女性の  
ヤナ。「自然と一体  
化した簡素でシンプ  
ルなくらしぶりだとい  
うのに、まるで妖精  
のような、遊び心の  
ある美しさと満たさ  
られています。」ハ  
ートと朗らかな文体。  
ページをめくるたび  
に幸福感があふれ  
る1冊です。学習の  
合間に、小さな森の  
生活をのぞいてみま  
せんか。

## 📖 図書館日誌 《2022年7月～2022年12月》

2022年 7.24	日曜開館日（前期定期試験期間のための臨時開館）
7.31	日曜開館日（前期定期試験期間のための臨時開館）
8.8-19	高校生体験企画「夏休み、外大図書館へ来てみませんか？」開催
8.23-30	蔵書点検による休館
9.21	JLP オリエンテーション
10.26	LA・図書館職員オンラインイベント「レポート・論文に役立つ情報収集術」開催
11.1	セルフ貸出機を設置
11.8-9	トライやるウィーク（1校2名受入）
11.16	LA オンラインイベント「大学院生スタッフが語る語学・留学」開催
11.30	「おすすめ本持ち寄り読書会」開催
12.7	LA オンラインイベント 「大学院生スタッフが語る翻訳—字幕翻訳と出版翻訳の経験から—」開催

		<b>AD ALTIORA SEMPER vol.56</b> 神戸市外国語大学図書館報 第56号
ISSN		0919-2336
編集・発行		神戸市外国語大学図書館
		〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
		TEL : 078-794-8151 / FAX : 078-797-2257
		URL : <a href="http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/">http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/</a>
発行日		2023年1月31日
発行責任者		図書館長 芝 勝徳